

マツカーサー元帥閣下よ 直接に私の閣下にこのやうな
手紙をさしあげる無礼を御許し下さい
元帥が真に世界人類の平和を希望される方であり
又神を正しと信仰され自由と正義とを理解していられる
事を信じて私ハ（全くの無節操なる道德觀念のない所の
お恥づかしい事ながら日本政府に訴へてもすべて権力を以て
弾圧されてしまふのです）元帥にのみ以下の事を訴へさせて
頂きます そして神意を以て世界人類の公正なる
人道的立場より研究して頂いて私の夫小園安名に
公正なる裁判を行つて頂きたいのでございます
以下誠に不統一ながら述べさせて頂きます
私の夫小園安名は日本海軍指揮官中何人にも劣らぬ真の
海軍々人として恥ぢぬ人間でありました。又小園部隊として
ソロモンに、ニューギニア、ラパウルにブインにと武勲赫々たる
部隊の部隊長として過して参りました
終戦当時は第三〇二航空部隊司令として七一航空戦隊参謀
横須賀鎮守府参謀を着任して厚木航空基地に居り
ました
昨年八月十五日青天の霹靂とも云ふべき遂に日本は無条件
降伏に敗れたのです。わづか十才にもならぬ長女と長男とは「日本は
負けたの、どうして最後まで戦はなかったのかしら」と大つぶの涙
をおとして一時間近くも泣きました。この純なる童心まで
あざむいて来た日本の過去は余りにも恐ろしい悪口ではないで
せうか
戦争中よりもしや、かくなることもあらんかと夫小園は万端の準備
をとゝのへて居りました。そして「今日まで平和をむすぶべき時は
多々ありながら事の是非も弁へぬ抗戦意識の下にいたづらに
罪なき将兵や国民を抗戦にかりたて彼等の職務上の
怠慢よりかくもみじめなる敗戦に口らしめて戦局の收拾
のつかなくなるや直ちに自己の安泰を降伏によつて計つた
のである。併し一部正直なる忠節なる将兵及び国民の

2

反動を恐れ日本国民の榮譽的たる天皇の、日本にかつて
例を見ざるラヂオ放送によつてそれを弾圧したのです

節操なき軍人は共謀より救はれる。何より都合のよい
詔書であり真に正義人道を弁へぬ人には天皇の詔書
であるが為に将兵に武士道を誤り責任を口し国民も
又尽すべきを尽さずして敵に降ると云ふ不法を犯して
しまつたのです。微力極まるとは云へ弾圧もあり飛行機も
あつたのです。戦ひに於いて口の関頭まで戦ひつづける
ことこそ武士道ではないでせうか。
この時に当り夫は天皇の袖衣にかくれて悪逆無道なる
日本政府の人民を苦しめて来た統制から口却してすべてを解放して
自由に口らしめ平民一体となりて国土防衛、神より
與へられし日本の国土と人民を守る為に全力を
尽して口八人と飛行機より伝單を撒布したのです。
正直なる国民及び少数の将兵はよろこびました。
併し大局は定まりました。政府口口口及び口口口都のために そして米軍厚木への進駐
も
降伏後わづか一週間でありました。それにあいてた当時の
横鎮長官手塚道太郎は遂に夫を殺害せんと
計画したのです。夫妻心中せる山田飛行長を招き
夫を殺す事を命じました。当時（十八日頃）夫はマラリヤを発病し
高熱の病床に苦しんでゐました。併し神の助けか自己
の身辺の危機を感じてゐましたので信頼せる部下の
以外は極力面会をさけお薬も飲まずにゐました。
それで山田は夫の信頼せる中井中尉を通じて毒薬を
以て殺害せんとしたのであります。併し中井は断然之を
拒否し又夫にもその同志にも告白しました。
之に失敗した長官は遂に軍医長に命じ高熱に呻吟
して国家の興亡此時にある重大なる時に苦しみつゝ、就寝中を
突然として二十名位の暴力によっておさへつけて麻酔剤を
注射されてしまつたのです。夫としてはどうすべきもなき暴力でした。

3

そしてがうもんに用る皮手錠をなるものを二重にかけて狂人として
野比海軍病院へ監禁されぶちこまれたのです。八月二十日で
ありました。そして何人もそばへよせつけず酷暑の時とて
蚊はブンブンつき、体は皮手袋のためやすむ事もまどろむ

事も出来ず又食は勿論一滴の水も與へる事もなく
排便排尿さへそのまゝで放置する事一週間。
その間の夫の苦しみは如何ばかりであつたでせう。忠節なる
正しく行つた夫に対してこの仕打、思つても私の血は
体中逆流する思ひです。
その苦しみの姿をはからずも同病科勤務の看護婦に
より発見せられてはじめて夫は一週間ぶりに一滴の水を
のんだのです。併し皮手錠は依然として鍵をかけたまゝで
あります。そして八月二十八日今度は「病氣□養のタメ」と
夫を偽りて病院より直接一□の拘引状、勾留状も
発する事なくして大津にある横須賀刑務所に入監
せしめられたのです。そしていじめて手錠をはめされました。

それより約二ヶ月を経て
そして十月十六日只一日の広汎にて海軍大佐夫小園安名は党与抗命
罪首魁として無期禁固に処せられたのです。誠にふかしぎなる
罪名であると不審にたえず
臨時軍法會議と云ふ美名の下に抗告もなく一人の弁護士の
出席もなく（拒絶）わづか四回の審問と一回の公判により簡単
にかたづけられるべき問題ではないと私は信じます。
夫の行動に全く該当せざる罪名の判決とはそれを承服する
事は絶対に出来ません。そして鎮守府長官たる職権を
乱用し事務局、法務局と謀り国内問題と云ふ美名
によつて他方面よりの反動を恐れ極秘裡に右の不法な
裁判を行つたのであります。
神は罪を憎みて人を憎まず、とあるにもかゝらず
刑務所当局は洗面用具の歯ブラシ歯みがきさへも
與へず夫を大罪惡人の如く扱ひ
夫が刑務所に来りてあまりにも受刑者の家畜にも劣る悲惨なる
生活として司法官吏の暴虐なる行為を目撃して

4

色々刑務所内の改めるべき点等を所長はじめ所員に具申せし
為「何を罪人のくせに生意氣な」と腹を立て、遂に食事まで
減食せしめ夫は栄養失調になり何よりの楽しみたる読書も

出来なくなつたのです（文字が見えぬため）私は何より夫の健康
を心配して差入れを懇請せしも職権を以て中に恩にきせるが
如き事を言ふのです。そして所長以下全員一致で「お前のやうな
うるさい生意氣な奴（受刑者）はもう此処にはをかぬと云ふ
報復的手段に出て三月十日横浜刑務所に送られたのです。
その時持参せし書物（本）私がさし入れましたビタミン剤、夫の
書きました書きもの等一切没収してしまひ夫より再三横浜
刑務所長に請求しても何等回答なし四月五日私が夫に
面会の時も読書したいが本は一冊もなく紙も鉛筆も
なくて勉強が出来ず困ると訴へました
刑務所長は一週に一回受刑者に面接すべき義務があるにもかゝらず
私の口から申しますもおかしな事でございますが日本の
国体に関しての正しい若人と国学者としての広い見地から
云つても夫小園ほど深く研究してゐる人は恐らく
ないと信じます。
日本国国内問題と称して夫や私には「小園の行動は正しいが
米軍に対して□□釈の為に無期禁固にしてあるのである
からして米軍が撤退せし時か、平和条約でも成立すれば
釈放してやる」と言ひ放つたのです。されば米軍の□□□□
より正なる人を禁刑に処すと云ふ誤れる日本の司法当局
の不法なる事は言を待ちません。
外国に対する遠慮より□を無視して人を処罰するが如きは全く暴虐極りなし
マツカーサー司令部さへ許可すれば今すぐにでも
夫を釈放してやると復員局長官も私に□□して言ひました。
右のやうであれば国内問題と口先では称しても事実この
問題の対照は米軍当局に向けられてゐるのであはありませんか。
（いくら日本の政府が小園を解放しやうとしても米軍当局が黙認してゐるものかと私を
嘲に□した）
米軍当局の御拝嫌をとるが為にと云ふ小口実の下に
敗残に□しめたる海軍首脳部の悪行をすべて知り
つくしてゐる夫を 恐れるため世の中から出来る丈かくす
事を謀つてゐるのです。彼等はそれほど不正を犯して来たからです。

5

私の夫は海軍生活二十有余年只彼等上層首脳部

との戦ひでありました。故に彼等に屈従するものを引き立て
出世をさせ、夫等は進級等はいつも□れ□を追いつき出したことも度々です。中央部
へ近づけない

やうにしたのです。実力から云へば中央部に椅子により
机上の書類に盲判を押す彼等とは問題にならないのです。
マツカーサー元帥閣下よ長々と書きをりました事を
御許し下さい。

夫を裁いた所の降伏に関する国法は日本には絶対に
ありません。もしつとめて揚すならば
明治天皇の「尽スベキヲ尽サズシテ敵二降リタル時ハ
死刑に処ス」とあります。故に反対に降伏を是認せし
人々こそ死刑と云ふ事になるではありませんか。

国法なきに処罰を受ける事は有るでせうか。
私の夫が降伏を是認しなかつたのは国法を尊重し又
人間の道義を重んじたためであつて米軍当局に
対して反抗すると云ふ事ではないのです。

指揮官としては英霊となりし□□□幾多の忠勇なる
部下を思て最愛の父、我が子夫兄弟を失へる父母妻子を思ふ時
又降伏と云ふ武人最大の恥辱を受ける幾十万の将兵
又血と涙によつて築きし海外同胞の身の上を思ふ時
心を鬼にしても降伏を是認する事は出来ません
でせう。マツカーサー元帥閣下よよくよく之を御□□□下さい。

私の夫の如き人ばかりであつたならば誤れる大東亜戦へも
日支事変にも突入する事はありませんでしたとせう。
民主日本のかけ声は大ですが真に之を理解する人は
極く少数でありませう。

私の夫は日本に米軍司令部あることを神よりの使者と
よろこんでゐます。そして米軍当局と手を取り合つて
自由自治の日本らしき日本（外国のまねをする事を民主日本と誤れる
人が多い）平和楽土建設につくしたい熱望であります。
米軍滞在中に確固たる民主日本を築かねば駄目であると云つております。
私の夫が如何に人権を尊重し自由自治に民主の精神に徹して
今日まであったかは既に記した通り海軍生活の間は自己の安逸、利得、出世は

全く望まず人々の逃げるやうな苦難職務に就いて兵を
愛し海軍随一と云ふ立派な部隊を作り上げたのです。
横須賀住民厚木近在の人々にきけばよく分かる事です。
小園部隊の兵隊さんとして民に愛されたのです。
夫の如く降伏を是認しなかつた部隊も多々ありながら
夫のみを処罰して極刑に処し他の人々は父母妻子の下へ
却つたのです。マツカーサー元帥閣下よ。小園安名の妻と
そして愛らしい幼い四人の子の為に人道の正義と
公正なる言論の尊重そして民主司法の行刑の為に
降魔の剣を下されん事を切に撰に御願ひ致します
再審戦としても不可、弁護士を依頼せんとしても
政府首脳部にしり込みして駄目です。公正なる言論に
より発表せんとしても新聞社は受付けてくれません。
夫が司法大臣に出す上申書、御願書をさへも
司法官吏が開封して抹殺してしまひ夫や私に取つては
マツカーサー元帥閣下へ嘆願するより致し方なき
状態となりました。

どうぞ元帥よ「うるさい問題と思ひ召されずこの私の
つたなき文の事に含まれてる正しい意味を御汲み取り
下さつて何等かの解答を與へて下さいます事を
鶴首して御待ち致して居ります。
日本の現在の政府当局者及び第二復員局の上層部
等には極秘にされん事を願ひ上げます。何故なれば
夫の身命に直ちに危険が生じてまゐりますからです。
あつかましく願ひではございますがぜひぜひ御願ひしたき
事がございます。それは
マツカーサー元帥閣下でいらせられずとも閣下の心を心とし
閣下の最も信頼せる部下の御方で結構でございますから
直接私が御目にかゝつて事実を正しく御話し
上げたいのでございます。
この事に関する色々の人物や証人もございます。
どうぞ正しき批判を賜ひ神に代りて私によりきち恵
と力を御與へ下さいますやう神に祈つて御待ち詫て
居ります。九才（女兒）八才（男児）五才（女兒）三才（男児）の四児

あります。「戦争終わつてもまだお父様却つて来ないの、
淋しいナアー」と子供に云はれるたびに私の胸中お察し下さい
「をぢちゃん、をぢちゃん」とよそのお父さんを慕ふ幼児を見ると
熱い涙をどうする事も出来ません。
この手紙が途中で妨害される事なく□事に
マッカーサー元帥閣下のお手許へといくやう祈つて居ります。

昭和二十一年四月十五日

横須賀市××××××
××××××××
小園春子

マッカーサー元帥閣下

追伸 夫小園安名の降伏を是認せざる行動を□めんと欲するならば夫を部下と
して統率すべき長官に責任ある故に夫長官の一対一の話し合ひにより
処置すべきと私は考へます。故に夫があくまで降伏を是認せざる時は長官
自らの手によつて夫を殺害し元長官も死するが公平なる立場では
ないでせうか。幾人もの部下を殺人未遂罪を犯さしめ自分は降伏時の安逸な
生活を貪つてゐる彼なのです。敗戦の責任も彼にあると云ふも□ならず。

小園春子

水火にも ひるまぬ眞の男子をば
神は牢獄（ヒヤ）につかはしめたり

革命は ひとやに起るてふとかや
安名の心ぞ神よ知るなり

キリストも十字架につけり さはあれど
正義の焔いかで 消ゆべき

草ならぬ方の人々よ あら悲し
風のまにまに なびく心を

父したふ子等よ 冷たき世の風に
ひるむな 直き心もて行け

神に祈る
母の身に父なる愛もあたへよせ
父よさぬとも子等は □□と

「人民天皇には裁判行ふ事を得ず」
うつしみのあきつかみなれば天皇は
罪を裁けりこの日の本は

みさを□たき 武士こそは正義なり
民主日本の礎石たるべし